

# 長野県市長会 11 月定例会 会議録

平成 28 年 11 月 25 日（金）

午前 11 時～午前 11 時 38 分

ホテル国際 2 1 3 階 「千歳」

## 1 開 会

（牧事務局次長）

ただいまから、長野県市長会 11 月定例会を開会いたします。

## 2 会長挨拶

（牧事務局次長）

はじめに、三木長野県市長会会長から御挨拶をお願いいたします。

（三木会長）

皆さん、こんにちは。

長野県市長会 11 月定例会を開催いたしましたところ、各市長におかれましては、12 月市議会定例会、あるいは、来年度予算編成など大変御多忙のところ御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

去る 8 月 25 日、26 日、安曇野市におきましては、第 139 回長野県市長会総会を開催いたしました。その節は、開催市の宮澤安曇野市長さんをはじめ安曇野市の職員の皆様には大変お世話になりました。改めまして、心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

その総会での県に対する要望事項につきましては、9 月 15 日に、牧野市長会副会長さんとともに、県知事及び県議会議長に要望・陳情を行い、同日、自民党県連、民進党県連へも要望活動を行いました。

さらに、国に対する要望につきましては、10 月 13 日から 14 日にかけて、市長各位に御出席いただき富山県魚津市で開催された第 169 回北信越市長会総会を経て、今月 17 日の全国市長会理事・評議員合同会議において、国の施策及び予算に関する重点提言等として決定され、国に提出されましたので御報告申し上げます。

また、9 月 20 日には、市長各位の御理解をいただき、「オスプレイの飛行訓練について」の要望を、11 月 1 日には、「地方財源の充実確保に関する要請」を、それぞれ関係する国機関や国会議員等へ、長野県及び長野県町村会と合同で実施いたしました。市長各位にも、お忙しい中、全国市長会からの依頼により、「平成 29 年度都市税財源の充実確保についての要請活動」をお願いしているところでございます。

さて、アメリカ大統領選挙が事前の予想を覆し、驚きの結果をもってマスコミ等で語られ、今後の日本への影響も不透明とされておりますが、私たちは地方自治体を預かるものとして、知恵を出し財源を確保しながら、責任を持って持続可能な都市づくりを進めていかななくてはなりません。国におけるさまざまな議論の動向を注視し、地方創生の流れがより加速するよう、19市が連携をして、こうした声を上げるべきときは、しっかり声を上げることが重要であると思っております。

今、地方交付税等につきまして国の方で議論されておりますが、しっかりと、今申し上げましたように、注視していく必要があると思っております。

本日の定例会でございしますが、10月18日、19日の両日に開催いただきました各部会における県との意見交換の結果等の報告、また、本日午後に開催する「知事との懇談会」などについて、御協議等をいただく予定であります。限られた時間ではございますが、忌憚のない御意見をお願いいたします。

阿部知事との懇談会では、市長会として、知事に対し、しっかり市の意見をお伝えいただくよい機会でありますので、市長各位の活発な意見交換をお願い申し上げます。

19市の市長各位が一堂に会しての本年の会議は、本日が最後となる予定でございます。少し早い感はございますが、この1年、市長会の活動に御理解と御協力を賜りましたことを心から感謝申し上げますとともに、よいお年をお迎えくださるようお願いいたします。挨拶とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございます。

### 3 当選市長紹介

(牧事務局次長)

ありがとうございました。続きまして、本年8月開催の第139回長野県市長会総会以降に当選されました市長様を御紹介いたします。お名前をお呼びいたします市長様には、恐れ入りますが、その場で一言御挨拶を頂戴したいと存じます。

はじめに、10月9日告示の飯田市長選挙におきまして、4選を果たされました牧野光朗飯田市長様です。

(牧野飯田市長)

皆さん、こんにちは。

ただいま御紹介いただきました、飯田市長の牧野でございます。今、お話がありましたように、2期連続無投票ということで、4期目の市政を担わせていただくことになりました。県市長会におきましては、引き続き副会長として微力ながら会長を支えていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(牧事務局次長)

ありがとうございました。続きまして、10月23日告示、30日投開票の千曲市長選挙

におきまして、再選を果たされました岡田昭雄千曲市長様です。

(岡田千曲市長)

皆さん、こんにちは。

牧野さんが4選、無投票でありましたが、私は2期目でもって大変な選挙になりました。シングルイシューと呼ばれる中で、このような選挙もあるのかなと思っております。また、選挙があることを知らない市民も多かったと思っております。大いに反省をするところでもあります。選挙期間中、そして選挙が終わってからも、市長さん方にはそれぞれ激励や祝電をいただきまして、この場をお借りしまして感謝を申し上げます。ありがとうございました。

千曲市はさまざまな課題を抱えております。選挙後、私も即、職員のセクハラ問題で陳謝をしなければいけなかったことがあったり、人生初のインフルエンザを経験したのですが、非常になかなかつらいものだなと思っておりますが、今後とも、しっかりと前を向いて引き続き頑張ってまいりたいと存じます。

どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。

(牧事務局次長)

ありがとうございました。続きまして、今日13日告示の中野市長選挙におきまして、再選を果たされました池田茂中野市長様です。

(池田中野市長)

皆様、こんにちは。

2期目ということで、再選、無投票と相成りました。選挙に際しましては、大変皆様から温かい御声援を頂戴しまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ただいまお話にございましたけれども、地方創生、私ども自治体を取り巻く環境は皆様も共通だと思えます。これに向けまして、2期目もぜひ一緒になりまして取り組んでまいりたいと思えます。どうぞよろしく願いいたします。以上です。

(牧事務局次長)

ありがとうございました。

本日の定例会でございますが、会議録をホームページ上で公開する会議としております。事務局において作成した会議録を出席者等に確認をいただいた後、ホームページに掲載させていただきますので、御承知お祈りいたします。

それでは、会議に入ります。会議の進行は、慣例により三木会長をお願いいたします。

#### 4 会議事項

## (1) 会務報告

(三木会長)

それでは、さっそく会議に入らせていただきます。着座で失礼いたします。

はじめに、(1)「会務報告」を事務局長から説明願います。

(市川事務局長)

皆さん、こんにちは。着座にて失礼します。

資料1をお願いいたします。8月の第139回総会で御報告させていただきました以降の8月1日から10月31日までの3か月間につきまして、時間の関係もありますので、主なものにつきまして報告をさせていただきます。

まず、1ページの1、「総会」でございますが、第139回総会を8月25日、26日の両日、安曇野市で開催いたしました。副市長・総務担当部長会議提出議題22件につきまして御審議いただき、全て提案どおり採択し、国の施策に関する事項につきましては、北信越市長会総会に送付いたしましたほか、県の施策に関する事項につきましては、先ほど、会長からの御挨拶にあったとおり、9月15日に正副会長さんから知事、県議会正副議長等へ要望するなど、処理経過等の欄に記載のとおり処理をさせていただきます。

2ページでございますが、事務局提出議題としまして、平成27年度長野県市長会決算認定等につきまして御審議をいただきました。県の施策説明では、県の現地機関の見直しについて、県総務部長と市長さん方で意見交換を行ったところでございます。

次に3ページになりますが、2の「役員会」は総会に先立ち開催しております。3の「部会」ですが、4ページまで10月18日、19日の日程で4部会を県庁において開催させていただきます。一括議題を含め、合計で27件の議題につきまして県の部課長等と意見交換を行いました。出席者や要望事項等につきましては記載のとおりで、本日の午後開催します知事との懇談会のテーマもお決めいただいたところでございます。

次に5ページをお願いします。4の「北信越市長会」ですが、169回総会が10月13日、14日の両日に富山県魚津市で開催され、本件提出議題の5件につきましては、全て原案どおり採択され、全国市長会へ送付されましたほか、記載の3件の決議につきましても、提案どおり採択されたところでございます。また、次回の第170回総会は、新潟県糸魚川市で開催されることが決定されております。

次に5の「全国市長会」関係ですが、10月6日、7日の両日、岡山市で第78回全国都市問題会議が開催されております。

その下、6の「監査」ですが、平成27年度長野県市長会歳入歳出決算に対しまして、8月2日に柳平茅野市長さんと、足立飯山市市長さんの2人の監事により実施をしていただきました。

次に6ページをお願いします。9の「会長等が出席した主な会議」ですが、記載のと

おり、会長はじめ関係市長さん方の御出席をいただいております。

次に7ページをお願いします。下段の「要請・要望活動」でございますが、9月15日に第139回総会におきまして採択された国・県の施策に関しましての要望・陳情を知事等に正副会長から行っております。また、9ページの一番上になりますが、9月20日にはオスプレイの飛行訓練についての要請を県及び町村会とともに関係省庁に行っております。

その下、2の「要請・要望を受けたもの」ですが、記載の3件につきまして要請等がありましたので、各市には、処理経過等の欄にありますように、送付をさせていただいたところでございます。

最後に、10ページから12ページの「関係団体の役員等の推薦または委嘱」の関係ですが、前回の総会で御協議、御決定いただいたもの等で市長さん方や関係職員にかかるものでございます。

会務報告は以上でございます。

(三木会長)

ありがとうございました。

ただいまの事務局長の説明に対し、御質問等がございますか。

(「なし」との声あり)

(三木会長)

ないようですので、会務報告について承認することよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

(三木会長)

それでは、御異議がありませんので承認することといたします。

## **(2) 協議事項**

(三木会長)

次に、(2)の「協議事項」に入ります。

はじめに、アの「長野県市長会部会報告について」ですが、本来ですと各部部长から概要を説明していただくところではありますが、時間の関係上、お手元に配付してございます資料2をもって報告に代えさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

全体を通して何か御意見等ございましたらお願いいたします。

(「なし」との声あり)

(三木会長)

それでは、次に、イの「知事との懇談会について」、事務局長から説明願います。

(市川事務局長)

資料3をお願いいたします。

まず、意見交換項目につきましては、ただいまの資料2にございました議題項目と一緒にとなっております、4の(1)から(4)までに記載のとおりとなっております。進め方につきましては記載のとおり、総務文教部会、社会環境部会、経済部会、建設部会の順に進めたいと考えているところでございます。終了予定時刻は15時を見込んでおります。説明は以上です。

(三木会長)

ただいまの説明に対し、御質問・御意見等ございますか。

(「なし」との声あり)

(三木会長)

それでは、知事との懇談会につきまして、事務局長説明のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

(三木会長)

それでは、御異議がありませんので、事務局長説明のとおり決定させていただきます。次に、ウの「市長会から選出する各種団体等の役職について」事務局長から説明願います。

(市川事務局長)

資料4をお願いいたします。

長野県から、長野県福祉医療費給付事業検討会委員2名の推薦依頼が、資料の2ページの写しのとおりございました。市長会からの推薦に当りましては、所管部会長さんなど、御一人に集中しないよう、部会所属の市長さん方に分担していただくこととしておりますことと、県町村会選出委員との地域バランスの関係から、今回は社会環境部会か

ら、加藤長野市長さんと小泉小諸市長さんを推薦したいと考えております。  
説明は以上です。

(三木会長)

ただいまの事務局長の説明に対しまして、御質問・御意見等ございますか。

(「なし」との声あり)

(三木会長)

ありませんので、各種団体等の役職について、事務局長説明のとおり決定することとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

(三木会長)

それでは、御二人の市長さん方にはよろしくお願いいたします。

次に、エの「平成 29 年度長野県市長会各市負担金について」、事務局長から説明願います。

(市川事務局長)

資料 5 をお願いいたします。

29 年度の長野県市長会への各市の負担金でございますが、資料右下、右から 3 番目となりますけれども、総額 1,991 万 4,000 円、今年度と同額をお願いしたいと思っております。事務事業の見直し等によりまして、27 年度から従来に比べ 3.3 パーセント、額にして 67 万 2,000 円を引き下げた経過もございますが、29 年度につきましてもその額でお願いするものでございます。

この負担金は、市長会にかかわります主に人件費や事務室維持費等の経常的な費用でございますが、市町村振興協会から 35 パーセント、県民交通災害共済組合から 30 パーセントの割合で負担いただいておりますほか、市長会には残りの 35 パーセントの負担をいただくこととなっております。この 35 パーセントに相当する経費及び会議費の一部ということで、各市の負担金総額を決めさせていただいております。

各市の負担額算出方法につきましては、従来どおり均等割で 3 分の 1、人口割で 3 分の 2 でございます。人口割で用います市別の人口でございますが、毎年、長野県発表の 10 月 1 日現在の毎月人口異動調査に基づく推計結果を使用しております。この結果、各市の負担額は記載のとおりとなりまして、今年度に比べますと 4,000 円の増から 4,000 円の減の幅の変動となっております。

前年度の人口と比較しまして、全市で減少しておるところでございますが、市別の人口減少比率の相違によりまして、負担金額が増加する市、減少する市が生じてまいりますので、御理解をいただきたいと思っております。説明は以上です。

(三木会長)

ただいまの事務局長の説明に対し、御質問・御意見等ございますか。

(「なし」との声あり)

(三木会長)

ないようですので、事務局長説明のとおり決定させていただいてよろしいでしょうか。

(「異議なし」との声あり)

(三木会長)

ありがとうございます。それでは、事務局長説明のとおり決定することといたします。

### **(3) 報告事項**

(三木会長)

次に、(3)「報告事項」に入ります。アからオまでの5件を一括して事務局長から説明いたします。

(市川事務局長)

それでは、5件一括報告をさせていただきます。

最初に、資料6、「第12回県と市町村との協議の場」でございますが、今週の月曜日、21日に県庁で開催されました。本会からは正副会長と4人の理事全員の御出席をいただき、県側からは阿部知事、中島副知事、関係部長等が出席して、資料1ページの次第に記載のとおり、まず、「医療・保健・福祉等人材確保」にかかる検討結果についての最終報告と、「地域発 元気づくり支援金」の検証結果についての最終報告がありました。

資料3ページをお願いいたします。「医療・保健・福祉等人材確保」にかかる検討結果では、ワーキンググループを8回開催しまして、市町村を対象にアンケート調査等を実施する中で、市町村の保健師採用情報の共同発信など先行して実施しましたが、この共同での情報発信の今後の方向性としましては、専用サイトや合同ガイダンスなどの取組をさらに拡大していくこと、4ページに参りまして、人材バンクの設置につきましては、一元的に扱う人材バンクの設立に向けた検討を進めることとなりました。処遇、採



用条件等の見直しにつきましては、給与等の処遇の改善や採用条件の緩和など、できるところから見直しを実施するほか、中長期的な検討事項としまして、共同での採用試験や人事の一元化については、時期尚早としまして、必要に応じて改めて検討する旨の報告がなされ、了承されたところでございます。

飛びまして、資料の 25 ページをお願いします。「地域発 元気づくり支援金」の検証結果でございます。平成 25 年度に見直しを行いました 6 項目についての検証を実施しまして、その結果として、資料の右側の検証結果でございますが、全市町村が「適当」又は「概ね適当である」と回答されているようでございます。支援金制度は住民協働による地域づくりに有効に活用されており、補助下限額、補助率、事業の採択期間については、基本的に維持することが適当とされ、「対応案」の「見直しの方向性」や、一番下にあります「イメージ図」にありますとおり、現行制度に加え重点テーマ事業に地域テーマが追加され、この場合の財政基盤が弱い市町村等のハード事業につきましては、補助率を 4 分の 3 にかさ上げするなどの報告がなされ、了承されたところでございます。今後、制度の詳細につきましては、長野県の平成 29 年度当初予算の編成の中で整理されることとなっております。

次に、今回のテーマとなりました「長野県子育て支援戦略の改定について」と「これからの県と市町村の連携について」でございますが、県側と活発な意見交換がなされたところでございますけれども、同日配付されました資料を御参考までに 30 ページ以降に添付をさせていただいております。

今後の確認事項といたしまして、資料の最後、45 ページをお願いいたします。1 の報告事項はただいま申し上げたとおりでございます。2 の 1 項目目の子育て支援戦略の改定につきましては、「長野県子育て支援戦略」の改定に向けまして、県と市町村が連携した子育て支援の取組を検討するため、県・市町村の実務担当者による合同チームを設置し、この場での検討を踏まえて、子育て支援について国に対し、必要な要望を県・市町村合同で行うこととなりましたほか、仮称ですが、「長野県子ども未来応援基金」の設置についても検討することとなりました。

また、2 項目の「県と市町村の連携」につきましては、人口減少社会におけます行政サービスを安定的、効率的かつ効果的に提供するためには、自治体間の連携を一層進める必要があることから、市町村単独では処理が難しい事務や、市町村で処理した方が効果の大きい事務等の処理について検討するため、仮称ですが、「県・市町村事務連携作業チーム」を設置することとし、初回のテーマは、「地域密着型介護保険事業所の指導・監査の支援」と「旅券事務の移譲・集約」とすることとなりました。

両チームの設置に当りましては、今後、実務者の推薦等をお願いすることとなろうかと思いますが、その節は御協力をお願いしたいと思います。

次に、資料 7 をお願いいたします。

「ゴルフ場利用税の堅持に関する緊急要望について」でございますが、ゴルフ場利用

税につきましては、このところ毎年、次年度の税制改正に当たりその廃止論が浮上しているところでございます。29年度税制改正の議論が本格化している中において、今年度も廃止という発言が自民党税制調査会幹部からあったことから、長野県よりゴルフ場利用税の堅持に関する緊急要望を県、市長会及び町村会の三者連名で実施したい旨の依頼がありました。

来週初めには、自民党税調での結論が出される予定とのことでありますので、時間的な余裕がないこと、昨年度における同趣旨の要望の際に全市からの同意をいただいていること、また、全国市長会からも要望の実施を要請されていることなどから、正副会長さんと御相談の上、本日実施することとなりました。要望先等につきましては、2以下に記載のとおりでございますが、市長会からは本日の定例会との関係から参加しておりません。

なお、要望書につきましては、2ページ裏面の写しのとおりとなっております。

また、この件につきましては報告事項とさせていただきますが、ぜひ、御了承を賜りたいと思っている次第でございます。

次に、資料8でございます。

「長野県県・市町村国保運営連携会議」委員についてでございますが、資料の裏面の2ページのとおり、長野県から委員の推薦の依頼がございました。1ページにお戻りいただきまして、4の経過を御覧いただきたいと思っております。平成30年度から、国民健康保険新制度の施行に向けた協議、及び施行後の県内の県と市町村との共同運営を進めるため、これまでの「市町村国保広域化等検討委員会」を廃止し、新たに「長野県県・市町村国保運営連携会議」を設置することとなりました。

新組織の設置につきましては、検討委員会委員全員の了承をいただいていることから、委員の選出に当たりまして、本会としましては、これまでの「市町村国保広域化等検討委員会」同様、社会環境部会の5名の市長さん方に引き続きお願いすることとし、9月1日付で推薦の手続きを取らせていただきました。

次に、資料9でございます。

「平成29年度市長会会議開催予定」でございますが、県市長会、北信越市長会、全国市長会等の予定を整理いたしましたので、あらかじめの御予定をお願いしたいと思います。

また、現段階で開催日が特定されていないものもございしますが、今後、決定され次第、順次、連絡をさせていただきますので、併せて御予定をお願いしたいと思います。

最後に、資料10、「会長が欠けた場合の執行体制のあり方に関する検討会議」でございます。

これは全国市長会の会長の件でございますけれども、これまで全国市長会の会長であられました森長岡市長さんが、去る9月6日付で長岡市長を辞任されたことに伴いまして会長が欠けることとなりました。これを踏まえまして全国市長会では、会則の規定に

よりまして、副会長の中から山口県の松浦防府市長さんを9月7日付で会長代理に選任したところでございます。次期会長は来年6月の全国市長会議で選挙されることとなっておりますが、それまでの9か月間は、会長に代わりまして会長代理が全国市長会を代表することとなります。

全国市長会におきます会長代理は、これまで13人が置かれたことがあるということですが、その就任期間は2週間から5か月余りであったとお聞きしているところでございます。今回は、これまでにない異例の長い期間を会長代理が対応することとなりますので、全国知事会等とのバランスや相手方の思いなどを考慮しますと、会長に事故があったとき、又は会長が欠けたときにいち早く会長を選任できるよう、2の検討項目にございますように、会長が欠けた場合の次期会長選任方法、会長が欠けた場合の会長職務代理者の決定方法について検討するために、この検討会議が、先週17日に開催されました全国市長会の正副会長会議で設置されることになりました。

構成は、支部長9名、会長代理が指名する副会長経験者等3名の計12名となっております。

今後のスケジュールは一番下の3でございますが、来年早々に第1回の会議が開催されまして、第2回の会議を4月に開催しまして、答申となる予定でございます。第1回の会議後には、その結果を踏まえました会則の改正案に対しまして、北信越支部を通じて長野県市長会の意見を求められることが予想されますので、各市町村さん方におかれましては御承知おきいただきまして、2月定例会において御協議いただくことになるのか、文書照会となるのか、今のところ不透明な部分がありますけれども、その際の意見集約には御協力いただきたいと思っておりますのでございます。よろしくお願いたします。

5件、駆け足で御報告申し上げましたが、報告事項は以上でございます。

(三木会長)

ただいまの事務局長の説明に対し、御質問・御意見等ございますか。

(「なし」との声あり)

(三木会長)

ありませんので、それでは、以上で報告事項を終わりにさせていただきます。

#### **(4) 県からの施策説明**

(三木会長)

次に、「県からの施策説明」に入ります。「信濃美術館の整備について」、県民文化部長の青木弘さんから説明していただきます。青木部長さん、お願いいたします。

(青木県民文化部長)

ただいま御紹介いただきました、長野県県民文化部長の青木でございます。貴重な時間を頂戴いたしましてありがとうございます。それでは、着座にて御説明をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

お手元に資料 11 ということで、「信濃美術館整備基本構想のポイント」以下の資料を申し上げているところでございます。お時間もございますので、簡略に御説明をさせていただきますと思います。

実は、信濃美術館の整備に当たりましては、去る 9 月 12 日に、そこがございます信濃美術館整備検討委員会から報告をいただいております。「信濃美術館のあり方及び整備に関する基本方針」をいただいたところでございます。その概要につきましては、おめくりいただきまして 3 ページ目でございますけれども、お示しをしているところでございます。

コンセプトといたしましては四つございます。ランドスケープ・ミュージアム以下、美術による学びの支援等々、四つのコンセプトの御提案をいただいたところでございまして、県といたしましては、こうした御報告いただきましたものを踏まえつつ、さらに 2 ページ目でございますように、県民の皆さん方との意見交換会等を県内 4 か所等で開催をさせていただきました。そういったものも基本構想に反映をさせていただいたところでございまして、それらを踏まえた上での基本構想ということで、去る 11 月 18 日に決定をさせていただいた内容でございます。

今日は、資料 11 の最初の 1 ページ目で概略を御説明させていただきたいと思っております。

「信濃美術館整備基本構想」のポイントでございますけれども、一つには理念でございますが、「人本位」で運営する開かれた美術館とさせていただいてございます。三つほど掲げさせていただいておりますけれども、特に、市立の美術館さんも結構長野県内にはございますが、そのようなことも踏まえつつ、広い県土を有する長野県の特性を踏まえ、地域へのアウトリーチ活動に力を入れるというようなことも記載をさせていただいたところでございます。また、開かれたということで施設整備や運営に県民や関係者の意見を反映し、県民に身近な開かれた美術館として運営にも心がけていきたいと考えてございます。

また、重点的な活動をいくつか挙げさせていただいておりますけれども、一つには学習県への貢献ということで、開かれた学びの場としての美術館とさせていただいたところでございます。障がいのある方にも配慮する中での、美術館教育のプログラムを充実していきたいと思っております。

それから、二つ目では「全国一数が多い県内美術館」。105 館とも言われているようでございますけれども、その中核的なセンター的な機能も果たしていかなければいけないだろうと考えてございます。そうした中で、県内美術館と連携・協働した巡回展の開

催や展覧会の共同企画も実施していきたいと考えてございますし、二つ目の丸にございますように、県内美術館の学芸員等の調査・研究活動の支援というの、県としての役割ではないかなと考えてございます。そのようなところにも重点的な取組をしていきたいと。

魅力ある美術館に向けましては、信州ゆかりの現代作家の支援ということにも心がけていきたいというようなこと、それから、テーマ性を持った美術作品の収集と展覧会の企画も実施していきたいと考えているところでございます。

こうした中で今後の進め方といたしましては、推進体制の強化ということで、特に二つ目の中点にございますが、今後、美術関係者や経済団体の皆さん方等々によります準備委員会を設置して、準備を進めてまいりたいと考えてございます。下に、ちょっと小さい字で恐縮でありますけれども、さまざまな検討課題がございますので、先ほど申し上げましたような課題も含めまして、今後十分に検討していきたいと考えているところでございます。

それから、二つ目の丸で、幅広い意見の反映と協働ということで、先ほども申し上げましたけれども、設計段階から意見交換やワークショップなどを行う中で、県民の参加・協働によります美術館づくりを進めていきたいと思っております。また、県民や、幅広く企業・団体等からの寄付や寄贈など、多くの方に応援してもらえる仕組みを検討してまいりたいと考えてございます。

なお、四角のところがございますように、施設の規模、それから建設の事業費、スケジュール、これらにつきましては記載のとおりでございますけれども、それぞれ基本設計を経て確定をさせていただきたいと考えているところでございます。施設の規模、建設事業費につきましては、本館の建設に100億円程度、それから、東山魁夷館も25周年を迎えております。老朽化が目立ってきておりますので、10億円程度ということで改修経費を上げてございます。また、スケジュールといたしましては、本館につきましては、平成33年度当初からの開館を目途にしつつということでございます。東山魁夷館につきましても、改修中は休館となりますけれども、開館時期は改めて基本設計を経て確定していきたいと考えているものでございます。

今後、先ほど来申し上げておりますように、県内に数多い美術館がございます。特に市立美術館もございますので、そういった皆様方の御意見も聞きながら、協働した取組ができますように今後とも進めてまいりたいと考えているところでございます。

説明は以上でございます。貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。

(三木会長)

短い時間でありありがとうございました。何か御意見・御質問等ございますか。

(今井岡谷市長)

はい。意見を幅広くということなのですが、県としてのポリシーのようなものはあるのですか。

(青木県民文化部長)

今、ポリシーというお尋ねでございますけれども、一応ここに、少し分かりづらいかもしれませんが、新美術館の理念などを書かせていただいております。

実はちょっと御紹介が遅れましたけれども、新しい美術館の館長の予定者も決めさせていただいたところでございます。国立東京近代美術館の副館長をされた方を今後の新しい美術館長ということで、選任を予定させていただいておりますので、そういった皆さんとよく相談しながら詰めていかなければいけないだろうと考えております。

ただ、県立美術館でございます。それは市立の美術館などの皆さんとはちょっと違った役割を付与されていると考えてございまして、先ほど来申し上げておりますような、県内の多くの美術館をやはり支援する立場であろうということもでございます。ですから、自分たちの美術館だけがよければいいということにはなりませんので、そういったことを心がけていきたいと思っております。

なお、コンセプトといたしましては、3ページ目に1年半にわたって御検討いただいた中身を記載させていただいているところでございますが、そのようなことで今後進めていきたいと考えております。「ランドスケープ・ミュージアム」、「美術による学びの支援」、それから、「信州の地域文化の多様性を活かす」、「世界水準の作品展示と信州芸術の紹介」ということでございます。

県立美術館の果たすべき役割というのがやはりありますので、なかなか個性というところを際立たせるのは少し難しい部分もありますけれども、既に東山魁夷館も併設をさせていただいているところでございますので、その辺も含めまして、県としての美術館行政に努めていきたいと思っております。

(三木会長)

よろしいですか。ほかにもございますか。

時間がなくて青木部長には申し訳ないのですが、これからもいろいろな形で説明いただいたり、また、私どもで御協力することがあったら御協力をしていきたいと思っております。大変短い時間でしたがありがとうございました。

(青木県民文化部長)

貴重な時間をいただきましてありがとうございました。

これからもよろしくお願い申し上げます。

## (5) その他

(三木会長)

それでは最後に、(5)の「その他」ですが、事務局で何かありますか。

(市川事務局長)

ありません。

(三木会長)

市長各位、皆さんから何かございますか。よろしいですか。

(「ありません」との声あり)

(三木会長)

なければ、以上で11月定例会の議事を終了いたします。

御協力ありがとうございました。

## 5 開 会

(牧事務局次長)

以上で11月定例会を閉会いたします。お疲れ様でございました。